

FABERGÉ



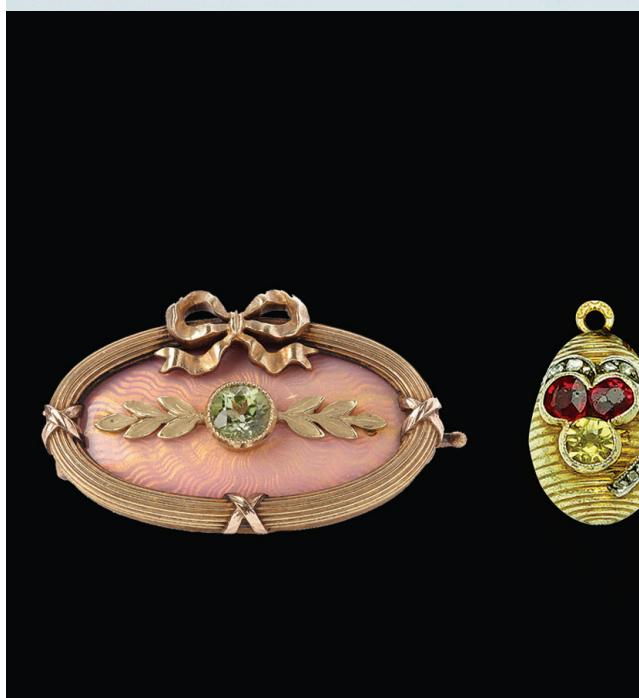


# ABOUT FABERGÉ

高い芸術性で宝飾界の伝説と謳われるファベルジェ。  
傑出のジュエリー、時計、美術調度品、  
並びに国境を超えて舞い込むご見識高い  
お客様からの特別注文に応え、創作を続けます。

1842年創業。  
2代目ピーター・カール・ファベルジェが  
帝政ロシア宮廷付き公認金細工職人を拝命し、  
美しくも精緻な宝飾・調度品、  
とりわけ贅を尽くし粋を集めた一連の  
インペリアル・イースター・エッグ  
“ファベルジェの卵”を世に送り出したことで、  
ブランドの名声は揺るぎないものとなりました。

自らの華やかな歴史をインスピレーションの源に、  
こんにちファベルジェが切り開くのは、  
時を超えて色褪せることなく輝き続ける  
宝飾品の新境地。  
私的なご所有やご贈答品、  
継承されゆくご家族のご所蔵品に相応しい作品を  
ご提案すべく、最上質のカラーストーンを  
自在に操りながら色彩の妙を探究して参ります。



最初の雌鶏、1885年、フォーブス社提供  
当冊子掲載アンティーク・ジュエリーの画像はすべて  
ザ・ファベルジェ・ヘリテイジ・コレクションより  
使用許諾を受けております



## HERITAGE

ロマノフ朝に仕えた在りし日のファベルジェ工房を仰ぎ見ながら、珠玉の作品が伝える洗練、文化的奥行き、そして技術的完成度を、オリジナルに忠実に写し取りました。

色彩豊かに贅の限りを尽くしたヘリテイジ・コレクション。繊細なエナメル細工、ギヨーシェ彫り、職人が自ら施す彫刻のように、現代にもなお御し難い素材と技術の継承無くしては、メゾンの象徴たるエレメントがかようになだらかな光に浮かび上がることはなかったでしょう。

ロケット・ペンダントには、発見と歓びの創出というファベルジェの温める原点までもが引き継がれました。芸術性、希代の職人の技、溢れる創意が融け合うミニチュアの“卵”的なに、ブランドの哲学を語り続ける“思いがけない贈り物／サプライズ”が、大切に納められています。



1892年製作のダイヤモンド・トレリス・エッグに着想を得た  
トレヤージュ・コレクション。  
トレリス(格子垣)は、当時シガレット・ケース、パラソルの柄、  
フォト・フレームの装飾にも多用され、  
ファベルジェの署名にも匹敵するモチーフの一つとなりました。

ローズ・ゴールドとホワイト・ゴールドがなぞる  
格子パターンをなぞり、  
眩いばかりのルビー、アメジスト、  
オレンジとイエローとピンクとブルーのサファイア、  
エメラルド、ツァ沃ライト、  
コニャック・ダイヤモンドとホワイト・ダイヤモンドが、  
鉛で押したようにあしらわれ、  
まるで豪奢なクッションのような華やかさ。

宝石を散りばめたキルトのような触感に訴えかけるデザインのなかに、  
継承する美がモダンな姿を纏います。  
過去と現代の完璧なる融合。  
こんにちのファベルジェを支える信念が託されました。

## TREILLAGE







強力な色彩に溢れるエモーション・コレクションは、  
美しくも聰明なるファベルジェの世界の豊かさを探究します。

## EMOTION

大胆かつ斬新な宝石たちが、  
フォーヴィスム派の画家のような色使いに託して描き出したのは、  
心情の力と機微の表れでした。

力強い色彩と洗練極まるカラーストーンの  
無作為なパヴェ・ワークで、  
抽象画のように構成されるコレクションです。

# ESSENCE

現代的なタッチで描き出されるジュエリーに、  
伝説のインペリアル・エッグが息吹を吹き込みます。  
ダイヤモンドとカラーストーンを操りながら、  
名高い“卵”のシルエットをなぞるコレクション。  
ロケット・ペンダントには、  
色のさざめくサプライズが納められ、  
“ファベルジェの卵”的本質までもが託されました。

簡潔さに息づくエレガンスが映える  
エッセンス・コレクション。  
18金を基調に、宝石とエナメルが弾ける色彩で  
抑揚を添えるジュエリーに、  
美術工芸の技術も光ります。



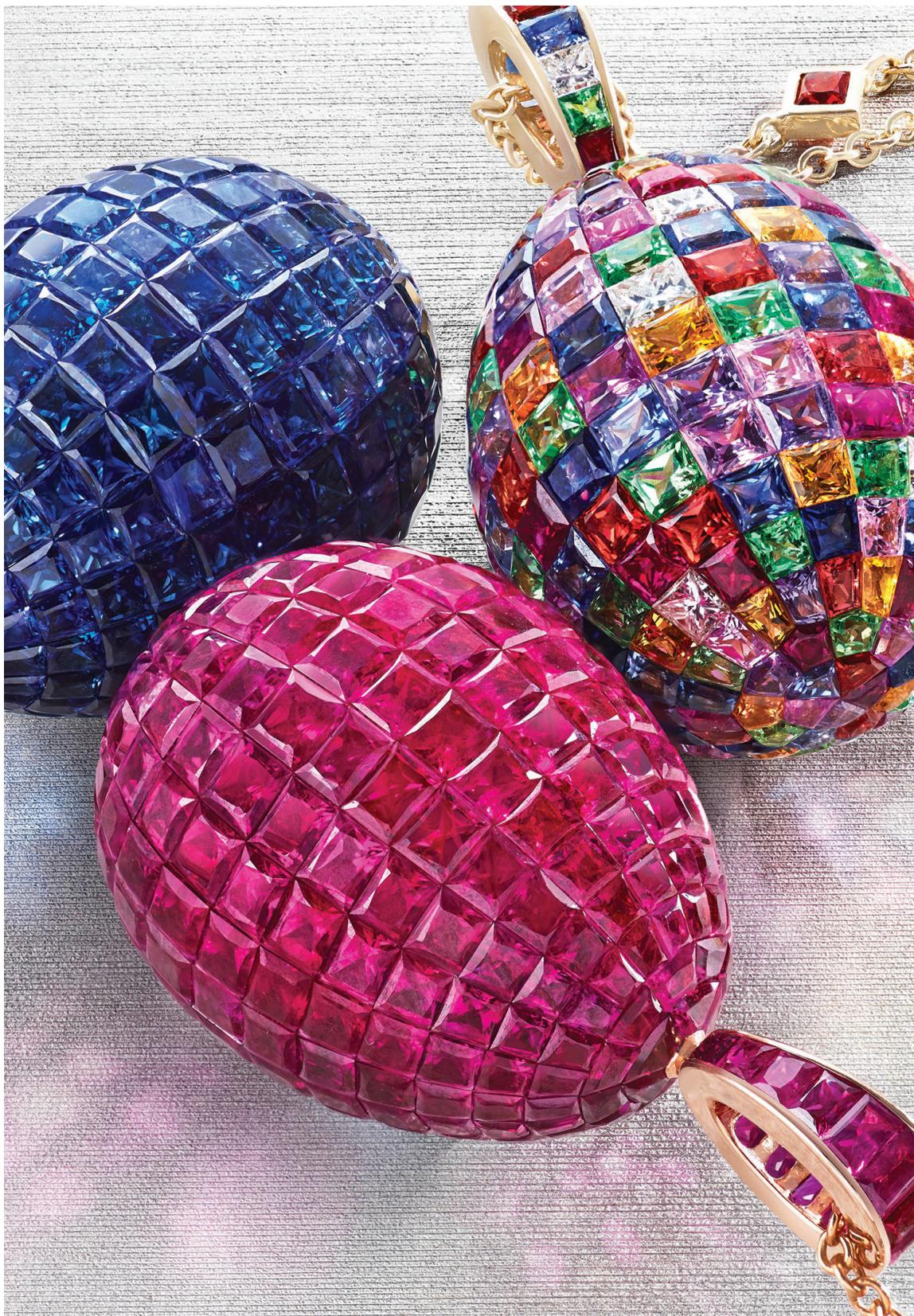


ファベルジェの創出した世界を、激動の時代に振り返るコレクション。  
郷愁と歓びを絹い交ぜに、古きロシアの陽気なお祭り、手工芸、寓話、  
民間伝承をたどり詩情豊かに紡ぎ出されるコレクションには、  
彼の地に讚えられる四季折々が鮮やかな輪郭を与えます。

## IMPERIAL

稀有な光を放つカラーストーン、ダイヤモンド、真珠の数々が、  
最高位の美術工芸職人の采配によって  
お互いをも一層煌めかせるジュエリーとなり、  
ロシアに移り行く季節を輝きと彩りとその佇まいに捕らえ、  
語り継いでゆくでしょう。

ガーランド、渦を巻く曲線、リボン、タッセル、羽根飾り、冠と  
ロシアン・スタイルのティアラ。  
時を同じくしてベルエポック期芸術諸派に多用されたモチーフが、  
帝政時代を回顧する豪奢なコレクションに磨きをかけ、  
過去と現在そして未来を結びいかなるシーンをも  
まばゆい光で照らします。



# COLOURS OF LOVE

カラー・オブ・ラヴ・コレクションが謳うのは、“彩り満ちる生”。  
芸術的革新性と工芸職人の卓越なる技巧と出逢い、  
カラーストーンの湛える光が鮮やかな活気を帯びました。  
絢爛たる色彩のパレットも、自在に操る術なくしては、  
創造性を羽ばたかせることは出来ません。

伝統工芸技術に精通しながら刷新をも模索し続けた  
祖ピーター・カール・ファベルジェの精神を尊び、  
技術の進化と時代の変化に感性を研ぎ澄ませて描き出される  
コレクションです。

ルビーはすべてモザンビークのモンテプエス鉱脈から、  
同様にエメラルドはザンビアのカジエム鉱脈から、  
ジェムフィールズ社の完全管理のもと採鉱されました。  
ご見識高き皆さまもご存じの通り、  
倫理的基準を満たすカラーストーンの供給を理念に掲げる同社は、  
現地政府並びにNGOと連携し、  
大地のもたらす富がそこに住む人々へ適正に還元されるべく  
教育・医療システムの整備に尽力、  
また採掘による環境への負担軽減にも専心しています。





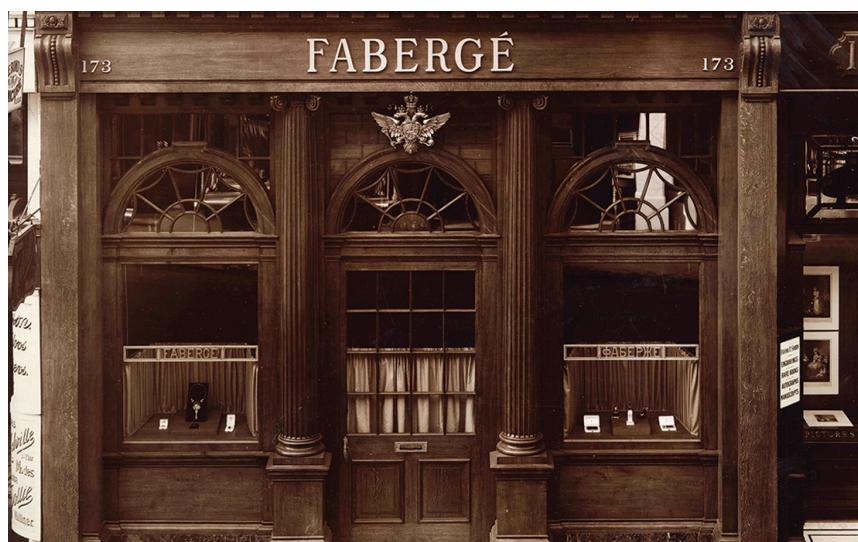
# WATCHES

革新的創意で宝飾界に傑出するファベルジェは、  
当代きっての時計製造者との共同製作にも  
力を入れております。  
時の流れを刻み込む精緻極まる技術がより自由に放つ  
ファベルジェの想像力は、  
作品を包む意外性に満ちた抗い難い魅力に結実していますが、  
その構想の根幹を支え続けるのも、  
“思いがけない贈り物／サプライズ”  
創出への希求に他なりません。

力強く他とは一線を画し進取の気性に富むデザインは、  
見る者の目を奪います。  
さらに注意深い眼差しを向けるなら、  
この精密機械の細部にわたる完成度の高さが  
思いがけない発見となって、  
息を呑むような驚きで包むでしょう。



1890 - PETER CARL FABERGÉ



FABERGÉ SHOP 173 NEW BOND STREET, 1911  
SOURCE: THE FERSMAN MINERALOGICAL MUSEUM, MOSCOW



FABERGÉ WORKSHOP  
SOURCE: ARCHIVAL PHOTOGRAPH CIRCA 1903

# GUILLOCHÉ TECHNIQUES

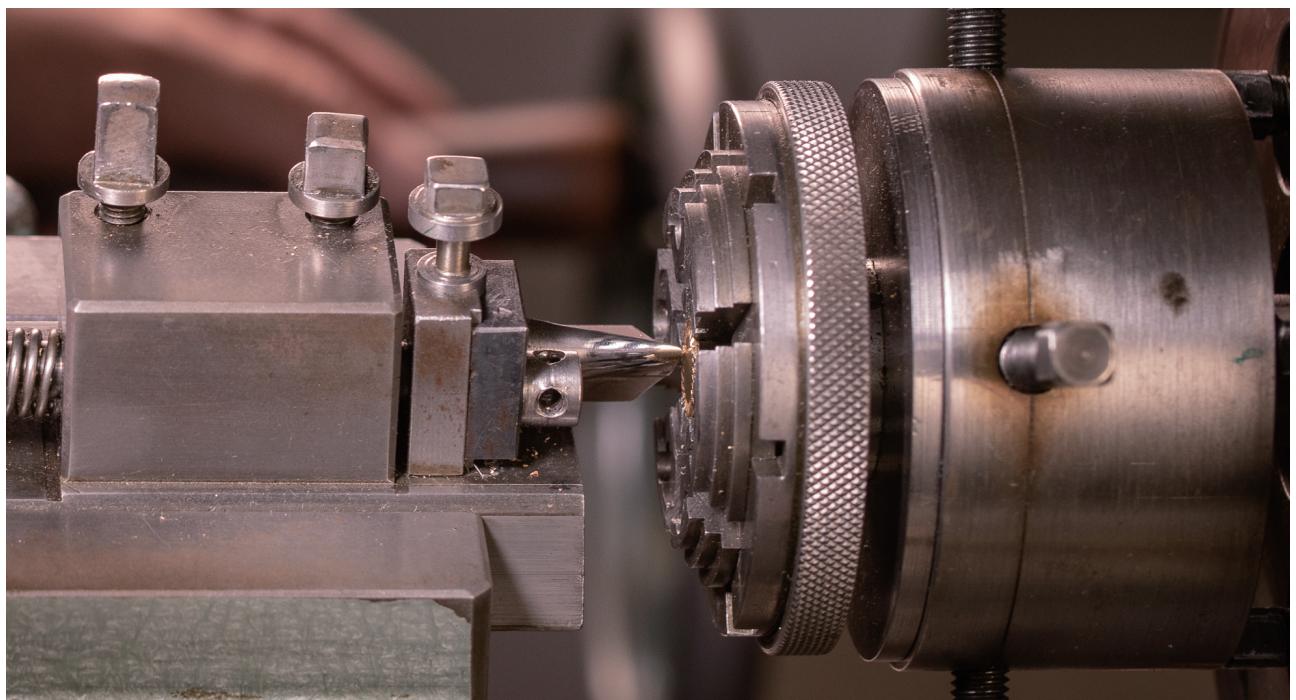
ギヨーチェの技術

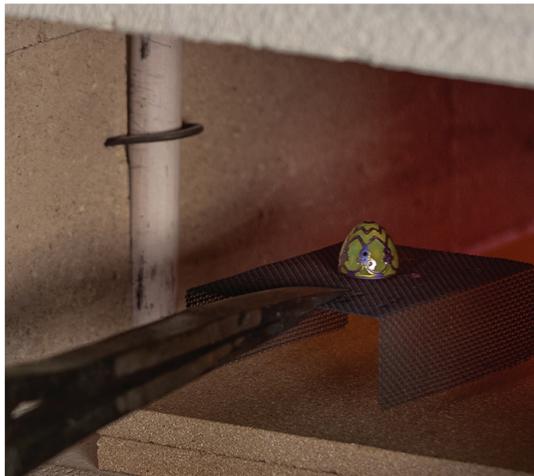


フランス語である「ギヨーチェ」は、金属に波線やリボンのような、連続的な模様を彫る装飾技術を指す言葉です。

こんにちにおいて、ギヨーチェ彫りやエナメル細工はあまりにも高等な技術がゆえに、世界有数の限られたアトリエでのみ施すことが可能となっております。洗練された技術によって成し遂げられたギヨーチェ作品は、ファベルジェ独自の半透明なエナメルに覆われることで、唯一無二の質感を生み出し、作品が動くたびにまるでモアレのように美しく光を反射します。

ギヨーチェ彫りやエナメル細工は、曲面的な作品に施すことは非常に難しいとされていますが、ファベルジェはこれを実現することで、モダンなエッセンスを含んだ、他にはない魅力的で独創性に溢れる作品を生み出すことができます。





# ENAMELLING TECHNIQUES

## エナメル細工

エナメル細工は、着色された細かなガラスの粉末を、金属を代表とする作品の表面に塗布する、さながら魔法のような技術です。この粉末と金属を融合するには、お互いを高温で熱する必要があります。この熱により粉末が融解し、金属の細かな凹凸に付着した状態で後に硬化することで、非常に滑らかな質感を生み出します。

エナメル細工は粉を手動で塗布し、それを窯で熱するという工程を少なくとも五度繰り返す必要があります。窯に作品を投入する細かなタイミングのズレや、微小な温度の違いでも、作品の仕上がりが大きく変わってしまい、時には何週間にも及んで製作した作品が、このような小さなミスで途端に原型をとどめない鉄とガラスの塊と化してしまうこともあります。ファベルジェがご提供する作品は最短で2日で仕上がりますが、そのデザインの纖細さも相まって、2秒でも長く窯に作品を入れてしまえばまた一から製作を始める事となるため、どれも情熱と時間のかけられた作品ばかりとなっております。このように、エナメル細工は非常に複雑でかつ高尚な技術力の求められる工法であり、各職人の経験のもと1つ1つ製作されることから、同じ卵はこの世に1つとして存在しません。

## 1897 CORONATION EGG



COURTESY OF FORBES



## 1908 PEACOCK EGG

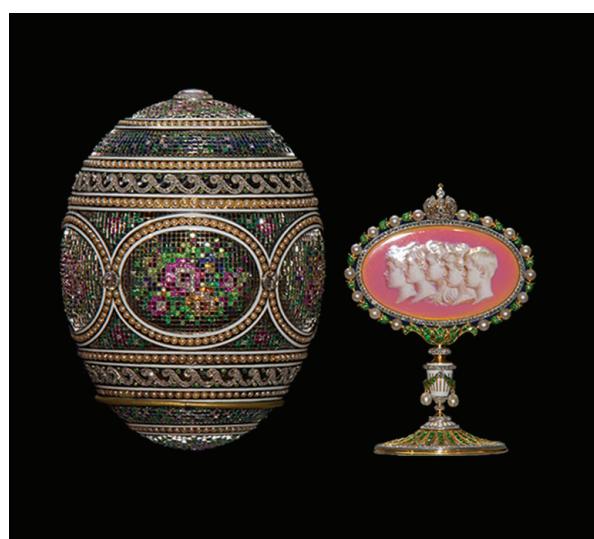


COURTESY OF FONDATION EDOUARD ET MAURICE SANDOZ, LAUSANNE, SWITZERLAND

## 1914 MOSAIC EGG



COURTESY OF GETTY





[www.eqco.jp/faberge/](http://www.eqco.jp/faberge/)





FABERGE.COM